

近畿地方整備局大阪国道事務所
資料配付

配布日時	平成19年11月6日 14時00分
------	----------------------

件名	こくどう こうきんゆうじがわばしほかたいしんこうじ 国道26号金熊寺川橋他耐震工事での そざつせこう 粗雑施工について
----	--

概要	<p>平成19年3月9日に完成した「26号金熊寺川橋他耐震工事」において粗雑施工が行われたとの匿名の投書があり、調査を行った結果、監督職員に無断で不用（ルーズ）穴を開けた鋼製受け台（ブラケット）を設置し、塗装により隠蔽する不誠実な粗雑施工行為が確認されました。</p> <p>粗雑施工行為が確認された、鋼製受け台の取り替えを行うとともに、早急に当該工事の全ての鋼製受け台を点検調査及び請負業者の処分を検討するなど、適切な対策を講じることとします。</p>
----	---

取り扱い	—
------	---

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
------	-----------------------

問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所 副 所 長 濱野 利彦 管理第二課長 中村 香澄 電話：06-6932-1421
--------	---

国道26号金熊寺川橋他耐震工事の粗雑施工行為について

1. 要旨

近畿地方整備局大阪国道事務所に「26号金熊寺川橋他耐震対策工事」で「こういう不用穴施工は許されるのか」との匿名の投書があり、指摘内容について現地調査を行ったところ、一部でその事実が確認されました。

今回の粗雑工事の結果、地震時において橋台からの落橋はないものの、鋼製受け台(ブラケット)が損傷し橋梁に横ズレが生じる可能性があることから、早急に対策を講じることとします。

2. 工事概要

工事名: 26号金熊寺川橋他耐震対策工事

工事場所: (自) 大阪府泉大津市板原

(至) 大阪府阪南市鳥取中

・対象橋梁: 金熊寺川橋、榎尾川橋、榎井川橋、牛滝川橋

工期: 平成17年12月13日から平成19年3月15日まで

請負金額: ¥ 119,910,000.-

請負業者: 深井建設株式会社

工事内容: 橋梁付属物工

落橋防止装置工(緩衝チェーン)	1式
落橋防止装置工(連結ケーブル)	47組
落橋防止装置工(RC突起)	48本
変位制限装置工(鋼製突起)	1式
橋梁補修工	12ヶ所
現場塗装工	1式
情報BOX工	1式
構造物撤去工	1式

3. 匿名投書の主な内容

- ①金熊寺川橋の鋼製受け台(ブラケット)は、すべてルーズ(不用)穴がなされている。
- ②新規穴は現場で開けられたものです。

4. 事実の概要

本工事は、既設橋梁に落橋防止装置工と変位制限装置工及び橋梁補修工他を施工する工事内容であるが、26号金熊寺川橋で行われた変位制限装置工の施工において、鋼製の受け台(ブラケット)を工場製作し、現場で設置する際、請負業者の施工手順のミスからあらかじめ設置していたアンカーボルトの位置と鋼製受け台のボルト穴が合わないことが判明した。

この事実を発注者側監督職員に報告することなく、鋼製のベースプレート(鋼板)に新規穴を現場で開け、さらに不用となった穴をシール材(エポキシ樹脂)で埋め、その上をメッキ色と同色の塗料を塗り、外見からは分からなくするよう隠蔽していた。

投書後に監督職員が現地で鋼製変位制限装置の粗雑施工内容の一部を確認しました。

また、大阪国道事務所は深井建設(株)から「金熊寺川橋の鋼製受け台において、すべてに粗雑施工がある旨」の事実を確認した。

<粗雑施工ヶ所の数量 平成19年10月31日現在>

金熊寺川橋の鋼製変位制限装置 12ヶ所 (24個)

5. 今後の対応

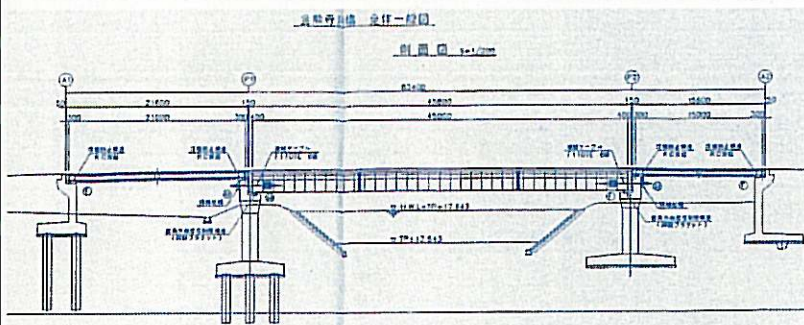
本工事の全ての鋼製受け台を点検調査し、事実が判明した部材を取り替えることとしております。

また、併せてこの請負業者の処分検討を行うなど、適切な対策を講じてまいります。

位置図



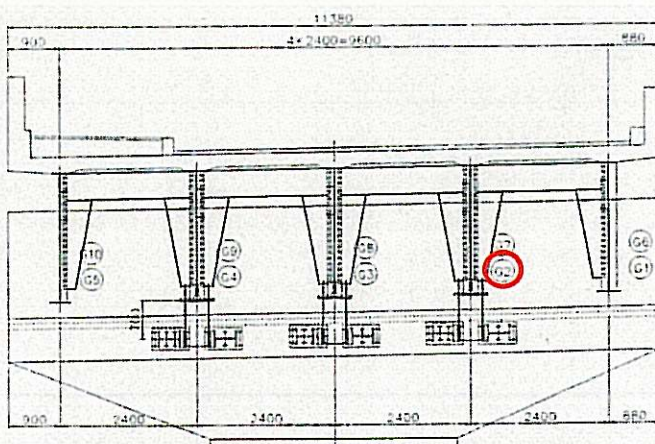
金熊寺川橋 一般図



変位制限装置 鋼製受け台(ブラケット) 上
りP1



鋼製受け台(ブラケット)



塗装を剥ぐと、アンカーボルトの
横に不用穴が確認できる



不用穴を隠しているとみられる状態

<参考資料>

1. 経緯

平成18年 2月 2日
 平成18年 5月10日

 平成18年 5月26日
 平成18年10月
 平成18年11月20日
 平成19年 3月 9日
 平成19年 3月15日
 平成19年10月23日

平成19年10月29日

平成19年10月30日

平成19年10月31日

平成19年11月 1日

平成19年11月 2日

工事着手

落橋防止鋼製ブラケット製作完了
 (金熊寺川橋の変位制限装置鋼製ブラケットを除く)
 槇尾川橋・牛滝川橋・榎井川橋工事完了
 金熊寺川橋の変位制限装置鋼製ブラケット製作
 今回発見された金熊寺川橋に鋼製ブラケットの設置完了

工事完成

完成検査

匿名の投書が大阪国道事務所に郵送され受付

深井建設(株)に事実確認のヒヤリング

監督職員が深井建設(株)と現場の一部を確認。

深井建設(株)が監督職員に独自の社内調査結果を報告

深井建設(株)から「不適切な全ての鋼製ブラケットを取り替えない」旨の申し出がある

粗雑施工された鋼製ブラケットの構造検討

「地震時に変位制限装置に荷重集中が生じ、ブラケットが損傷することもあり得る」ことを確認

大阪国道事務所が深井建設(株)に対して、事実を確認

取り替えの製作準備及び鋼製部材の点検調査を開始

2. 本工事の橋梁概要

- | | | | | |
|-------------------|--------------------------------------|------------|----------------|----------|
| 1) 金熊寺川橋
(側道橋) | 単純PCプレテンT桁(2スパン) + 単純合成鈹桁(1スパン) × 2連 | 橋長=83.40m | 幅員=10.48m | 2車線 × 2連 |
| 2) 槇尾川橋 | 単純活加重合成桁(3スパン) | 橋長= 90.00m | 幅員=32.00m | |
| 3) 榎井川橋 | 単純活加重合成桁(4スパン) | 橋長=129.30m | 幅員=11.00m × 2連 | |
| 4) 牛滝川橋 | 単純活加重合成桁(2スパン) | 橋長= 59.60m | 幅員=14.50m × 2連 | |

3. 参考図

アンカーボルトとベースプレートの接触概念図

